

中長期的な施策 (10~20年以内)

中長期的な施策は、米子市が海外(中国・韓国・ロシア等)から見た日本海側の玄関口となることをめざし、山陰地方の広域交通拠点の実現に向けた施策を提言いたします。

V 山陰地方の広域交通拠点(日本海側の玄関口) P25

米子市は空路・海路の交通の要衝として「山陰の玄関口」としての機能を担う一方で、鉄道での関西方面、山陽方面とのアクセスの不便さがビジネス面、観光面ともに足かせになっています。そこで、米子が「日本海側の玄関口」として飛躍するための起爆剤として、「新幹線」誘致が必要であると考えます。誘致を可能にするためには、周辺地域との連携が必要であり、まずは地域としての意思を明確にする必要があります。そこで、そのための調査の実施と、誘致組織の設立を提言いたします。

(1) ソフト施策 新幹線整備の可能性に関する調査の実施 → P26

- ①期待されるニーズの分析
- ②「米子」に高速鉄道を誘致する手法の検討(建設費・時短効果)

(2) ソフト施策 新幹線整備に関する誘致組織の設立 → P27

(3) ソフト施策 新幹線整備までの広域交通を担うLCCの誘致 → P27

おわりに

本提言を検討するにあたり、本会の例会におきまして米子市長 伊木隆司 様にご講演をいただくとともに、「まちづくりワークショップ」には、米子市経済部の職員の方々にもご参加いただきました。また、提言内容検討の過程でご協力いただきましたこの地域を想う多くの方々に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

今後とも、これから「ダイナミックシティ米子」として米子市が発展し、市民が暮らしやすさを実感していくために、私たち米子商工会議所青年部としてすべきこと、米子商工会議所青年部だから出来ることを行ってまいります。

まちづくりと公共交通に関する提言書

暮らしやすい未来の 「ダイナミックシティ米子」のために 今すべきこと



※本紙は「まちづくりと公共交通に関する提言書」の内容を簡潔にまとめた概要版です。
提言の詳細については提言書全体版をご覧ください。

概要版
平成30年3月

はじめに

私たち米子商工会議所青年部は、「人の集うまちづくり」を基本理念とし、まちづくりに直接関連する様々な事業を行っております。それらの事業で得られた気づきや、2年間行っている公共交通に関する研究の蓄積を活かし、公共交通も含めて「まちづくり」を一体的に考えなければならないと考え、俯瞰した視点から街の課題、解決策を検討しました。

また、今後の「住んで楽しいまちづくり」の実現に向けては、経済循環の増大(地域外からの資金流入や地域内の資金循環)による地域経済の活性化が必要不可欠であるという観点から、青年経済人の視点で提言をまとめました。



短期的な施策（5年以内）

短期的な施策は、下図のとおり、施策対象である「市民」と「市民以外」、施策内容である「日常生活・ビジネス」と「レジャー・観光」の四象限で提言を整理しています。

